



盆踊り

〔上川内〕

- 10 お月様さえ夜遊びなさる わしの夜あそびごめんなれ  
 11 街道唄で通る流しできけば ある水なげてもくみが出る  
 12 恋にこがれてなくせみよりも なかぬ蛸が身をこがす  
 13 土手のかえるのなくのも道理 見ずにあわずにおられよか  
 14 ほれて見るせか乱れた髪も 金のようにらくさげたよだ  
 15 雪も降ります氷もはるが 人の心はあたたかい
- その他

盆歌

- へ盆の十六日踊らぬものは 猫かねずみかお稻荷様か  
 へ踊り踊らばしなく踊れ しながよければ嫁に取る  
 へどんとどんと太鼓がひびく あれは川内お諏訪様  
 へそろた踊子数ある中に 一人悲しき人がある  
 へ咲いた桜になぜ駒つなぐ 駒がいさめば花が散る  
 へ花はよければ山吹の花 浮気で咲く気か実が成らぬ  
 へすいた水仙しだれた柳 心白菊気が紅葉  
 へ思い直して添う気はないか 鳥も枯木に二度とまる  
 へ妾は奥山一重の桜 八重に咲く気は更けない

チヨイラッショ